

博士課程教育リーディングプログラム 平成26年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
申請大学名	東京大学	申請大学長名	濱田 純一
申請類型	複合領域型（横断的テーマ）	プログラム責任者名	相原 博昭
整理番号	E01	プログラムコーディネーター名	五神 真
プログラム名	フォトンサイエンス・リーディング大学院		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

光科学の持つ「基盤性・革新性・横断性」を新しい大学院教育の軸に据え、わが国の博士課程教育システムの改革モデルとなる博士前期後期課程一貫プログラムを設置する。優秀な若者を世界から集め、広い分野にわたる確固たる基礎科学力を身につけた上で、知の活用の為の実践的な講義演習を行う。これにより、学問分野、基礎・応用の区別なく広い視野を持って、人類の課題解決に立ち向かうリーダー人材を育成する。狭い意味でのアカデミアに停留せず、産業界・政策立案などの幅広い分野で世界的リーダーとして活躍するキャリアパスを構築する。特に、経済的な事情や将来への不安から、博士進学を断念している優秀な修士学生および優秀な外国人の確保のため、前期課程から十分な支援を行う。

2. プログラムの進捗状況

平成23年度の立ち上げ以降整備を進め、博士前期後期課程一貫教育を実施してきた本プログラムを、引き続き安定的に運用するために以下の項目を実施した。

- 1) コースワークとして、俯瞰的視野を獲得し、知の活用の技法を学ぶための先端光科学実験実習、最先端光科学講義を開講した。
- 2) 必修項目である、海外派遣、企業インターンシップ、国内外他大学等での共同研究推進のいずれかの参加に対し、渡航費用等の援助を行った。
- 3) 副指導教員とコース生が3ヶ月に一度面談し、進捗状況の報告や研究上の議論を行い、異なる視点から見ることによる気付きと俯瞰的視野の獲得を促した。
- 4) 博士課程前期1年後半より、月額20万円をコース生に支給した。
- 5) 理学系研究科物理学専攻、化学専攻、工学系研究科物理工学専攻、電気系工学専攻の博士課程前期1年生から各々27, 7, 7, 1名のコース生を選抜した。
- 6) 平成27年3月にQualifying Examination (QE)を行い、物理学専攻、化学専攻、物理工学専攻、電気系工学専攻の博士課程前期1年の各々27, 7, 7, 1名がコース生の継続を許可された。
- 7) 博士課程後期3年生を対象に7月から8月にかけてFinal Examination (FE)を行い、コース生33名がFEに合格した。
- 8) 12月11日にコース生主催の交流会を行った。